

2025年の日本の出生数(日本で生まれた外国人、国外で生まれた日本人の数などを含む)は70万5809人で10年連続で過去最少を更新したことが、厚生労働省が2026年2月末に発表した人口動態統計(速報値)でわかった。人口減少が「静かなる有事」といわれる中で、少子化への有効な対策は今をもって見通せていない。

放課後は習いごとや塾で忙しい子供が多いのかもしれないが、住んでいる所や通勤で行き過ぎる街でも姿をあまり見かけない。人口減少や少子化は日本だけの問題ではなく、近隣の韓国や台湾でも深刻に受け止められている。



もう随分前の新聞記者時代、桜が咲き始めた3月に房総半島の山あいの小学校の最後の卒業式を取材したことがある。少子化による学校統廃合は当時も珍しくなかった。閉校セレモニーを兼ね、校長をはじめとする先生方、学校関係者や教育委員会の人、この学校を卒業した高齢の方々や地元議会の議員といった来賓が出席していた。

大勢の人に祝福され、送り出された最後の卒業生は女子児童1人。児童より大人の人数が多かった。5年生以下の児童(いても1学年に1人か2人だったと記憶している)は、次年度に統合される比較的近くの小学校に通うことになっていた。

記者の腕章をして入った式場の体育館で、見送られる児童が心から感激している様子を取材した。喜びや名残惜しさ、さまざまな思いを押し量って、こちらも胸が熱くなった。式場に知り合いは一人もいなかった。それでも校歌斉唱が始まると、初めて聞く歌が不思議に心にしみた。これが最後の校歌斉唱の機会だったのかもしれない。たった一人の卒業式もこんなにも素晴らしい。そんな記事を書いたように覚えている。

ことしの桜は卒業式に間に合っただろうか。

卒業生の皆さん、ご卒業、本当におめでとうございます。

(編集長 北村 豊)

[STAFF]

■取材協力：学事部、各学部事務室、大学院事務室、学生部、ボランティアセンター、中央図書館、国際センター、入学センター、キャリアセンター、学友会、経理研究所、委員会ほか

■写真提供&協力：「中大スポーツ」新聞部

■学生記者：倉塚凜々子(国際経営4)、小保方愛香(法4)、高橋璃々(経済4)、合志瑠夏(経済4)、酒井優実(商4)、吉田未来(理工4)、三浦菜々花(国際経営4)、鈴木萌結(国際経営4)、北村結(総合政策4)、小西結音(総合政策4)、上原希成(国際情報4)、金岡千聖(商3)、池田さくら(文3)、高橋来佳(文3)、木村結(法3)、渡邊弘将(国際経営3)、小林莉子(国際情報3)、松岡響紀(経済2)、伊橋佳七(経済2)、西桃香(経済2)、渡木彩文(文2)、九十歩胡春(文2)、荒田智海(文2)=順不同

■制作協力：株式会社トリッド



Web版「HAKUMON Chuo」はこちらから閲覧できます。

NEXT ISSUE 「HAKUMON Chuo」2026 春号 No.289 2026年4月2日発行予定

2026早春号 No.288
2026(令和8)年3月23日発行
発行：中央大学広報室
〒192-0393
東京都八王子市東中野 742-1



“学生記者”になりませんか?

Would you be a student reporter?



(申し込み・問い合わせ)
中央大学広報室
「HAKUMON Chuo」編集担当
E-mail:hc-grp@g.chuo-u.ac.jp

「HAKUMON Chuo」は中大生が取材・編集する大学広報誌です。現在、学部在学生在を対象に学生記者を募集しています。

メリット
1

元新聞記者のプロや先輩の学生記者に、取材方法・原稿の書き方や、添削指導などを受けることができます。将来どんなキャリアを目指すにも文章力は重要です!

メリット
2

取材を通して、さまざまな人に出会うことができます。出会いの数ほど思い出ができることでしょう。

メリット
3

記者活動を通して、コミュニケーション能力など社会に出て活躍するための基礎力を身につけることができます。



プロ野球ドラフト会議で指名された硬式野球部選手の記者会見=2023年10月26日、多摩キャンパス